

ミクロ・マクロ経済学演習 受講上の注意 (2012 年度版)

担当者：河田 正樹

講義の目的と進め方

この科目は前期に開講されたミクロ経済学・マクロ経済学の内容を定着させるために、計算問題を中心とした問題演習をおこないます。をさまざまな経済事象をあらわすデータによって、おもに日本経済の現況を知るとともに、それらがどのようにして作成されたものか、そのデータを使ってどのような分析ができるのかということ学びます。

- 講義形態：教室における講義。
基礎事項の確認 → 例題 → 問題演習 → 宿題
というのが基本的な流れとなります。
- 出欠：講義開始時にカードで出席をとります。また、遅刻者には講義終了時に別のカードを配ります。
- 授業中のマナー：携帯はマナーモードにしてください。練習問題は、隣の人との相談しながらやることはかまいませんが、説明のときの私語はつつしんでください。

成績評価について

この科目の評価は、2つの方式で採点し、いずれか良い方を採用します。

A 方式 (平常点重視型)

平常点 60 点満点
(出席、授業中の問題の状況、
宿題提出状況)

期末試験 40 点満点

B 方式 (試験一発型)

期末試験 100 点満点

得点が下のいずれかによって成績評価します。

優 80 点以上 良 70 点～79 点 可 60 点～69 点 不可 59 点以下

使用テキスト

テキストは使用しません。基礎事項の確認の際には、プリントまたは PowerPoint スライドのハンドアウトを配布します。

ミクロ経済学、マクロ経済学で使用したプリント、テキストを参照することがありますので、持参してください。

質問等

講義時間中の疑問はその場で解決するようにしてください。わからないことがあったら遠慮なく聞いてください。

出席カードの裏側に質問や講義に関するリクエストを書いてもらってもかまいません。この場合は、次回の講義においてその回答をします。

講義時間中以外に質問がある場合には、**514 研究室**を訪ねてみてください。また、オフィスアワーは木曜日の3限です。

また、e-mailでの質問も随時受け付けています。アドレスは kawada@tokuyama-u.ac.jp です。

講義用ホームページと webclass

事務連絡、出席状況、課題提出状況、関連 HP などのさまざまな情報を講義用 HP に掲載します。コンピュータ室や自宅から閲覧してください。

アドレスは <http://www2.tokuyama-u.ac.jp/kawada> です。

webclass には、さまざまな練習問題を掲載していきます。練習問題としては、講義内容の復習に役立つ基本的な問題から、公務員試験等で実際に出題された応用的な問題までとりそろえていきます。これらの問題を宿題として指定することもあります。

ERE 経済学検定試験について

経済学の実力を測り、学んだ成果を証明できる客観的な指標として、ERE(経済学検定試験)があります。団体申し込みという形で、本学を会場として受験することが可能ですので、是非受験してください。

ERE については、

<http://www.ere.or.jp/>

を参照してください。(講義用 HP からリンクをはっています。)